

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

| | チェック |
|--|------|
| ① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい) | |
| ② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く | |
| ③ 週テストを見直す(間違えた問題の見直し) | |

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

| | チェック |
|-------------------|------|
| ① 宿題用テキストの練習問題を解く | |

担当より一言

今回は「星と星座(2)」について学びました。
今回は星がどのように動くのかを学習しました。
ポイントは次の点です。

- ・北極星の見つけ方。
- ・星は北極星を中心にして「反時計回り」に回っている。
- ・「日周運動」は地球の「自転」が原因で、1時間で15度動く。
- ・「年周運動」は地球の「公転」が原因で、1か月で30度動く。

北極星の見つけ方は図をながめるだけでは中々正確には覚えられないと思います。北斗七星とカシオペア座の図をかき、北極星を見つける線を引く作業を実際に行うのが効果的です。

星の動きについては、各方角の動きをそれぞれ別々に覚えるのではなく、自分の頭の上で空が回転している様子を想像してみるようにしてください。

日周運動と年周運動の角度は、まずは「1時間で15度」「1か月で30度」という数値を覚えるようにしてください。その上で、できれば原理を理解し、計算して求められるようになるのが望ましいです。

次回は上記内容を踏まえて計算問題に取り組みます。計算問題は少し難しく感じるかもしれませんが。復習をした上で次回の授業にのぞみましょう。

第1回G模試の範囲は、第1回～第3回の内容です。週テストの復習や、宿題で間違えた問題を解き直したうえでG模試にのぞみましょう。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

| | チェック |
|-------------------------------|------|
| ① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える | |
| ② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く | |
| ③ 週テストを見直す（間違えた問題の見直し） | |

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

| | チェック |
|------------------------------|------|
| ① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く | |
| ② 都道府県を確認する（都道府県名・位置などを覚えよう） | |

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

| | チェック |
|-------------------|------|
| ① 宿題用テキストの発展問題を解く | |

担当より一言

今回は「沖縄」について学びました。

青い海、白い砂浜、まぶしい日差し……というイメージでしょうか。言うまでもなく日本を代表する観光地です。前回の北海道と同じように、行ったことがある人もいるでしょう。

今回の沖縄のポイントは、「特色ある気候」です。東京から遠く離れた沖縄では、この気候をいかして農業をおこなったり、観光客をよんだりしていましたね。そして、気候の影響から、家にもたくさんの工夫がありましたね。沖縄ではなぜ、そのような家の工夫をしているのか、授業を思い出しながら、家でも考えてみてください。

次回の週テストの範囲は、「沖縄」となります。基本的には宿題用テキストの「基本問題A」・「基本問題B」をベースとした出題となりますので、次回までに確実に取り組んで授業に参加してください。

前回の家庭学習レポートにも書きましたが、「都道府県を覚えること」は、進んでいますか？

もし日本地図が家にあるなら、どこかにはっておいて、いつでも見られるようにしておくといいですね。ニュースが流れたり、野菜に産地がのっていたりしたときに、すぐにどこか調べることができます。いろいろと工夫をしながら、都道府県について覚えていってください。

第1回G模試の範囲は、第1回～第3回の内容です。週テストの復習や、宿題で間違えた問題を解き直したうえでG模試にのぞみましょう。